

【学生フォーラム】

町民に役立つ町づくり ～信州高遠町～

愛知産業大学 造形学部 デザイン学科 伊東浅路

長野県高遠町は、長野県南部の伊那谷の北部に位置し、北には南アルプス、南には三峰川を望むことができ、自然豊かな町です。この町は「桜と歴史の町」といわれる程、歴史と文化が受け継がれてきました。しかし、50年前をピークに、過疎化やインナーシティーが進み、城下町としての面影は少なくなってきました。

そこで、この歴史ある高遠町の素晴らしさを今一度見直し、活気ある町づくりを提案しようと思います。

高遠町の歴史と文化

かつてこの町には「高遠城」があり、戦国時代に武田信玄が城の拡張をし、高遠町を支配していましたが、今から425年前、岡崎を支配していた織田信長に攻め入れ、織田信長の支配下となりました。この頃から高遠町を中心に、政治、経済、教育が発展し、高遠藩が置かれた頃には、伊沢修二や中村不折など数多くの著名人を輩出しました。また、高遠焼や石工などの伝統もこの頃から受け継がれてきた、高遠町が誇れる伝統です。こうした中での町民の生活、城下町の様子は商業・農業を中心とし諏訪などへの通り道として栄えていました。

高遠城築城から多くの城主を経て約700年続いた城も、1871年の廃藩置県により取り払われることとなり、その城跡に桜を植え始め「タカトオコヒガンザクラ」として、桜守や町民によって、現在も見事に咲き続け観光客を呼んでいます。

高遠町の人口の変動

高遠町の人口は城下町として栄えていた240年前は115人、今から50年前の昭和25年には14516人と、急激な発展があったと思われませんが、これをピークに、13年前の平成5年には7943人、現在では7251人と減少し続けています。

これらをふまえ、この高遠町を活性化させるにはどうしたら良いかを考え、一つの提案としてまとめました。

まず、これからの高遠町を支え受け継いでいくのは現在の高校生だと考え、町に対する意見をアンケートという形で聞いてみました。

「高遠町のどんなものを後世に残していきたいですか？」

1位 桜、 2位 歴史・文化、 3位 高遠城趾公園

「高遠町にあると良いと思うものは何ですか？」

1位 飲食店、 2位 若者向きの場所、 3位 レジャー施設

「高遠町に今後住みたいですか？」

1位 いいえ、 2位 はい、 3位 どちらでもない

「高遠町は好きですか？」

1位 はい、 2位 いいえ、 3位 どちらでもない

これらの結果から、町民全ての人々が安心して暮らせることができ、商業やイベントなどによって町の活性化を求めていることが分かりました。また、統計から過疎化が進んでいるため、近い将来高遠町を受け継いでいく高校生を中心とした若者の居場所と、高齢者などへの町全体の配慮が必要であると考えました。

これらを含めてビジュアルなデザインとしてまとめました。そこで、町の活性化を目指して、町並みの景観づくりとしてデザインしたことは、

- 1、桜の並木道の創設をすることによって分かりやすく特色を持たせ、また、町全体を活性化させる、道のパターン化
- 2、伝統的な町並みのより一層の促進と魅力化
- 3、中層建物の伝統的景観に対するスタディー

です。そして、伝統的な建物の形を守って建築物を配置します。高遠町には三階建て以上は建てては行けないという町の条例がありますが、アンケート結果からゲームセンターやショッピングセンター、インターネットなどの情報を取り入れられる場所、また、町民の為の施設として病院、福祉施設など、中層スタイルの建物を建てる場合には、景観を崩さないよう白壁、またはナマコ壁に、瓦屋根など統一させることで景観を守ります。

この提案は、高遠町が好きで高遠町に住みたいという方が増え、活気溢れる町になり、歴史や文化を守り続けたいという町民の方々の願いを叶えられるような町であってほしいと思いを込めました。そういった町や町民が今の日本には大切なのではないのでしょうか。